

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	No.6	玄関の鍵の施錠。 認知症による徘徊で行方不明のリスクを減らすため、玄関は基本的に施錠を行うようにしていることが、入居者の身体拘束に繋がることが考えられる。	安全を確保しながら入居者自身の意志で自由に行動ができるように、できる限り施錠は行わないこと。	徘徊のある入居者の見守りを行いながら、日中は玄関の鍵は開錠し、施設の建物外の門扉を施錠するところから「開放的なホーム」を目指していく。	6～12ヶ月
2	No.26	ケアプランの見直しは1年に1回となっている。	入居者の状態に変化がない場合でも、短期的に、少なくとも6ヶ月に一度の見直しを行う。	現状の2ヶ月に一度のモニタリングと、6ヶ月に一度のケアプランの見直しを行っていくことで、より細やかなケアにつなげていく。	6～12ヶ月
3	No.35	避難訓練を約1年に1度の割合で行っている。備蓄の飲食物が不足している。	避難訓練の実施は基本的に年2回以上、うち1回は消防署の立会いや夜間想定等の訓練の実施を行い、有事に備える。	自治会や地域住民に協力いただき、地域ぐるみでの訓練を行っていく。備蓄の飲食物は常に消費期間を確認しながら持ち出しやすい場所に保管しておく。	6～12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。